



校長雑感

令和8年9月1日
荒川区立第四中学校
学校だより 9月号

「よこ散歩」

校長 横林 泰介

今年も1学期に3年生全員と面談を行った。「**四中の良さ**」を昨年の3年生に続きたくさん教えてくれてありがとう。将来のイメージが少しずつ見えてきたのではないのでしょうか。私自身も定年退職後の生活をイメージしてみた。

毎月1日は、都電を使って楽しむ日と決めている。朝起きてすぐに都電の停留場「飛鳥山」に徒歩で向かった。途中石神井川沿いにあるIさんが父と共に営むラーメン屋で朝食を摂った。鴨と鶏の出汁が絶妙なバランスでスッキリとした特製醤油ラーメンを頂いた。朝ラーは今では普通である。空腹だったため「五臓六腑に染み渡る」とはこのことだとサザンの曲を心で歌いながら食した。完食しお会計そしてIさんの「ありがとうございましたあ〜」の張りのある声に背中を押され都電に乗った。1日券は400円！どこで降りても何回乗ってもいいお得な券だ。

「荒川車庫前」で下車した。Sさんの作品が都電車両にラッピングされるという。あら坊・あらみいのキャラクターに続く新キャラクターを考案し選ばれた。駅前でデザイン制作会社に勤務するNさんからの情報だ。絵も素晴らしかったがラッピングされるのを見るのは初めてだった。よいものを見せてもらった。Sさんの新キャラクターがクッキーになっていると聞き、歩いて荒川遊園地に行った。荒川遊園に来たのは半世紀振りで子どもの頃親とよく来た場所だ。リニューアルされていて昔の面影はない。お菓子を開発したのはAさんだ。早速購入しその場で食した。新感覚のスイーツのようだ。企業秘密であるが特別に教えてもらった。材料には、Aさんがイタリア修業時にチーズの中でも大のお気に入りになった、ほのかな甘みのあるマスカルポーネと白みそのコクと塩気を使い、クッキーの甘さを引き立てた和洋折衷の味わいであった。コーヒーとの相性はバッチリである。子どもよりも母親の心を掴んだようである。

終点「三ノ輪橋」で下車した。今日はライブハウスでAさんが演奏する。コピーするグループ名を聞き、行くことを決意した。ローリングストーンズ、イーグルスを奏でてくれた。当時の景色や感情が鮮明に蘇ってきた。Satisfaction(満足)であった。気づくともう夕方だ。腹が鳴った。帰りがけに「町屋駅前」で降り、歩いて5分位の細い路地にあるKさんが修行している寿司屋へ行った。あえてKさんに握ってもらうように大将をお願いした。「旬なものを握って」とちょっとずるい仕方の注文をした。すると自信をもって「今は、秋刀魚、戻り鰹、鯖、鮭、太刀魚、…」次々と出てくる。秋刀魚から太刀魚まで一貫ずつとあぶり秋刀魚も別に一貫頼んだ。まだ暑い季節だが秋の訪れを魚たちが教えてくれた。酢締めが旨味を引き出し最高においしかった。ここは卒業生が地元で活躍している**持続可能**な町である。

帰り道、違った感覚の腹の鳴り方がした。町屋駅前のMさんの勤務する薬局に寄った。そしてこう言われた「下りの電車、気を付けてくださいね。」

【最高の景色】

33年前、場所はカタールのドーハ、ロスタイムあと数秒でサッカーワールドカップ・アメリカ大会への出場を決定できる場面で、相手国にゴールを決められた。アジア地区最終予選敗退となり出場は叶わなかった。「ドーハの悲劇」と称され今でも語り継がれている。

私もハッキリと脳裏に焼き付いている。終わりのホイッスルの合図が響き渡り、日本代表の選手の殆どは、グラウンドに崩れ落ち泣いていた。そのうちの一人が森保一、現日本代表監督だ。

森保監督は、今回のワールドカップの試合開始前の国歌斉唱では、全試合涙を流していた。「ドーハの悲劇」で行くことの出来なかったアメリカの地に、今立っている。33年間の思いが自然に溢れてきたのであろうか。どのような心境なのかを考えることが失礼に思った。心打たれた場面であった。

日本はFグループステージを予選2位で通過し、ノックアウトステージ(決勝トーナメント)に進出した。しかし初戦はFIFAランキング5位のブラジル。日本が先制したものの惜しくも1-2で敗れた。今回も後半残り数分に決勝点を取られた。何事にも終了間際が大切であるとの教訓を学ばせてもらった。4年ごとに強くなっていることが確認できる日本代表チーム。次回2030年は、スペイン、ポルトガル、モロッコの3カ国を中心に、100周年記念として南米のウルグアイ、アルゼンチン、パラグアイを加えた計6カ国で開催される。「更なる最高の景色」をみんなで見たいものです。

【この街を住みやすくしましょう】

7月1日(水)「社会を明るくする運動・街頭宣伝活動」が行われボランティア部中心に生徒が参加しました。この運動は、法務省が主唱する全国的な啓発活動です。全ての国民が犯罪や非行の防止と、過ちを犯した人たちの更生について理解を深め、犯罪のない安全で安心な明るい地域社会を築くことを目的としています。生徒達は「この街を住みやすくしましょう」と声をかけ、ティッシュ等を配布しました。～Act Locally～ まずは自分たちの住む街からという発信ができたことは大きな成果です。



読書に関する有名人の言葉

1時間の読書をもってしても和らげることのできない悩みの種に、私はお目にかかったことがない。

モンテスキュー

【解説】

読書がもつ、心を落ち着かせ、視野を広げ、日常の苦悩から一時的に心を切り離してくれる力を端的に表現しています。